

# 医工連携 成果を発表

## 群馬大 鎮痛薬の新物質など紹介

医学と理工学分野の研究者が合同で研究し、新しい医療技術や医薬品などの開発を目指すプロジェクトを進めている群馬大は29日、前橋市の同大医学部キャンパスで本年度の成果報告会を開いた。大  
学や企業関係者ら約100人が来場し、進展状況に聴き入った。

度から5年間行っ。異分野の研究者が連携する枠組みができるのは同大で初めてで、篠塚和夫理工学府長は「地元企業とも協力し、研究の実用化を目指したい」と話していた。



発表に聴き入る来場者ら

九つの研究チームが壇上で発表したほか、25チームが研究内容のポスターを掲示した。同大大学院理工学府の黒沢綾助教は、新しい鎮痛薬に应用できる可能性がある物質を調べた成果を説明した。プロジェクトは「医理工生命医科学融合医療イノベーションプロジェクト」の名称で、文部科学省の支援を受けて同大が2014年